



ふれあいのひろば



町会長退任のあいさつ
山上 正

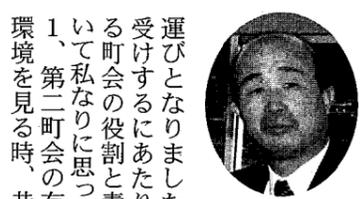
会員の皆様、この度、私は平成二十一年度任期終了をもって会長を退任致した。総会に承認をお願いしていただきました。四月三日総会におきまして承認され、会長を退任することになりました。思えば、昭和四十九年に防火防犯副部長に任じられ、今日まで三五年間町会活動に従事し、最後の二期を会長に就任させて頂きました。微力ながら町会の発展に充分寄与したとは思いませんが、行政の要請により、市・区の主催する研修会等で、町会活動事例を発表する機会が四回ありました。お陰さまで、大変貴重な経験をさせて頂く事も出来ました。大過なく職務を遂行する事が出来ましたことは、町会の皆さまに初め先輩同僚のご指導ご協力があっていただけたこと、感謝申し上げます。次第でございます。この機会に暑く御礼申し上げます。会長を退任しましても、役員諸兄及び

町会長退任のあいさつ

諸姉からの要請もあり、会長付参与として皆さまと力をあわせて、町会の発展に尽くしたいと思っております。後任会長には、私が信頼する堤氏が選任されました。堤氏は町会発展に尽力された功労者です。最適な会長を得まして、後顧の憂いなく退任する事が出来ます。第二町会の発展を祈念し、退任の挨拶と致します。

町会長就任の御挨拶

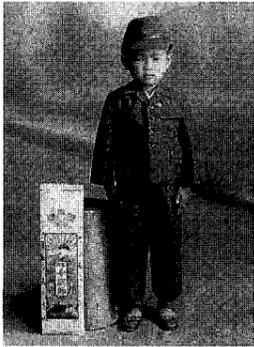
堤 秀夫



この度、図らずも伝統のある上平間第二町会の会長に推挙され、お引受けする運びとなりました。そしてお引受けするにあたり、地域における町会の役割と責任は何かについて私なりに思っております。1、第二町会の存在する地理的環境を見る時、昔の多摩川の河

思い出のコーナー・パーティー

三区 草薙 貞夫



昭和18年11月15日5才

私は嫁越で生まれ、昭和17年親子3人で現在の所に移住してきました。人は誰しも過去から現在までに幸せな事、楽しい事、つらい事等の記憶があると思えます。しかし、それも時間が経つにつれて、それらの記憶も薄れていく中で、特に強い印象を受けたことには、人に伝えたり

深く胸のうちに刻まれ、残っていくと思えます。そこで私の第一期となる幼年時代の頃、印象に残っている事に当時の風景と戦争のイメージが忘れられませんが、当時を知る人であれば、現在の時差にはまず身の周りから大きく変わっただと思われましょう。家も少なく、それこそあたりを見回せば田畑が広がり、田圃には力エ、ドジョウ、タニシ、トンボ、イナゴ、ヤゴ、脇の川にはエビガニ、フナ、タナゴ、メダカ等、畦道にはセリ、それこそ今では想像も出来ない程の自然が一杯の風景で当時が懐かしく思えます。また、戦中の記憶の中では、誰もが知っているように川崎は京浜工業地帯がたまたまに空襲の被害の大きさは記録されているところ、その影響は疎開先の無かった私には恐ろしい体験で記憶しています。

かわら版

平成22年4月5日発行
上平間第二町会
編集責任者 堤 秀夫
印刷所 長谷川印刷(有)

川敷の上に存在していること、木造家屋の密集している地帯であること等から、先ず地震災害に備えること。2、高齢者の大変に多い地域であるから近隣の共助の体制づくりに努めること。すなわち高齢者の見守りネットワーク、災害救助ネットワーカーの普及に努めること。3、地域の人が家に閉じこもり引きこもりになることを防ぐ方策として、地域に楽しく過ごせる居場所を沢山設けること。特に男性は勤め関係で地域に馴染みが薄くなっております。定年後の日常生活の充実と趣味の会などに参加される事が必要と思えます。町会には現在8つの趣味の会がありますが、まだまだ参加される方が少ないのが実情です。4、皆さんが知り合い、挨拶し合い、協力し合い、そしていざという時に助け合える地域作りに努力すること。5、その他清潔な町づくり等の課題がありますので、理事さん委員さん始め町会の皆様の協力と御鞭撻をお願いする次第です。

誕生会の記念写真

後列 左から宇佐美、三堀、大森、茂木
前列 左から岡野、杉村、大沼、尾形、小島、原の皆さん

お話・ひらまの里地域包括支援センター 荒川氏

軽い体操

みんなで合唱

体重・血圧・脈拍測定

防災アンケート調査の結果概要について

防炎モデル地区についてのアンケート調査の結果ですが、問題点が浮き彫りになっております。【町会として今後特に啓蒙啓発について努力すべきことについて】

- 1、食料、飲料水の備蓄をしていないとの回答者 (22.9%) についての対応。
- 2、消火器を自宅に置いていないとの回答者 (48.8%) についての対応。
- 3、火災報知機を設置していないとの回答者 (67.5%) についての対応。
- 4、家具、重量物を固定していないとの回答者 (37.2%) についての対応。
- 5、窓ガラス、ブロック塀対策をしていないとの回答者 (69.0%) についての対応。
- 6、防災訓練に参加したことのないとの回答者 (43.2%) についての対応。
- 7、大地震が起きた時の行動について家族で話し合いをするとの回答者が4割であること。

三太

ふれあいの投稿コーナー

新しい着物である。いくら古着屋のものとはいえず、三太にとっては晴れ着も晴れ着の紺紺。

それを着て、早速、表に出てみると、今までは目もくれなかつた大人たちが、おやと言った笑いかけてくる。

つい、きびきびと歩けば、「ちよつと、店の前の掃除をしておくれでないか」とうとうと団子屋の爺さまから声がかかった。「やっつた!」八才は叫ぶ。

早速、自分の背丈の竹箒を使い、時にはかがんで、小砂利の一粒、花びらの一枚までも集め始めれば、折からやってくる大旦那の姿にさえ、気付くことがない。

大旦那も大旦那。まさか、こんな所に「あやつ」がいるとは思ってないし、やっぱり新しい紺紺には感わされたのだ。

のどかな顔で、どさりと縁台へ腰を下ろすと、爺さまの次々と運ぶ団子を一心に食い始めたものである。

(井 蛙)

高齡社会部

三三デイサービス
毎月1回開催

元気いっぱい! 第三町会の青空野球部

第二町会には少年野球チームがあるのを存じですか?

第一町会子ども会の野球部「上平間第二町会野球部」として創部され、その後「野球をとおして青空のよう」のびのびと大きな心を持った子に育ってほしい」との願いからチーム名を「青空野球部」に改名し現在に至る、伝統ある少年野球チームです。

この地域の少年野球チームの数は多く、玉川地区だけでも7つのチームがあります。そして年間を通して中原区子連野球大会や玉川地区リーグ戦など多くの公式試合に参加し、他チームと交流しながら技術を高めています。今年度の試合も、さつそく3月6日の中原区子連春季野球大会から始まりました。

現在の「青空野球部」の部員は平間小学校に通う1、5年生の10人の子どもたち。熱心な監督・コーチ陣の指導のもと、毎週

多摩川河川敷の専用グラウンドで元気な汗を流しています。今年、少人数ながらもチーム一丸となつて一試合一試合を大切に戦い、優勝を目指します。明日のイチローを夢見る子どもたちの勇姿を、ぜひグラウンドまで応援に来て下さい。

※青空野球部では部員も大募集しています。野球が好きで小学生1、6年生までの男の子、女の子。野球を通してたくさんの子たちを作り、一緒に感動、喜び、悔しさを体験しませんか。野球の試合や練習だけでなく、親子ソフトボール大会や夏季合宿、町会のたこ揚げ大会やお祭り、玉川地区連合運動会など地域の行事にも積極的に参加。年間を通して楽しいことが盛りだくさんです。見学や体験入部も随時受け付けています。

